

平成30年度 広島県病害虫発生予察情報

予報第2号（果樹）



かんきつは南部の以下の地域が対象です。
 ※西部：竹原市以西の沿岸島しょ部
 東部：三原市以东の沿岸島しょ部

平成30年6月11日発表 広島県西部農業技術指導所
 対象期間 平成30年6月11日～7月中旬

もくじ

- 1-1) かんきつ病害虫の現況と予報（概要）・・・P1
- 1-2) かんきつ病害虫の現況と予報（詳細）・・・P2～3
- 2 果樹カメムシ類の発生状況・・・P4
- 3 気象状況・・・P4
- 4 農薬危害防止講習会について・・・P5
- 5 お知らせ・・・P5

1-1)		かんきつ病害虫の現況と予報（概要）		6月1日～6月8日調査
病害虫名	現況 (平年比)	予報 (平年比)	防除上の注意事項（防除時期）	
かいよう病	やや多	やや多	◇降雨前の予防散布を徹底する。予防散布できなかった場合は、降雨後に防除を行う。 ◇昨年度発病したほ場や、新葉に発病が多く見られるほ場では、銅剤による防除を早急に行う。 ◇発病した葉や枝は伝染源となるので、速やかに樹上から除去する。 ◇3月に銅剤を散布していないほ場では、早急に防除を行う。	
ミカンハダニ	少	少	◇梅雨明け後の多発を予防するため、6月中下旬に高度精製マシン油乳剤を散布する。	
そうか病	並 ※発生なし	—	◇多発園では梅雨期にも防除を行う。 ◇発病した葉や枝は伝染源となるので除去する。	
アブラムシ類	並	—	◇発生が多くなならないうちに防除を行う。	
ヤノネカイガラムシ	並 ※発生なし	—	◇幼虫発生期である6月中下旬に防除を行う。	
黒点病	—	—	◇予防散布を心がけ、降雨前に散布する。 ◇感染源である枯れ枝は園外に除去し処分する。 ◇追加防除は、前回防除後からの累積降雨が250mmを越えるか、前回防除後1ヶ月経過したら、防除を行う。	

1-(2) かんきつ病害虫の現況と予報(詳細)

かいよう病



現況(平年比)

やや多

予報(平年比)

やや多

予報の根拠

(+): 多発要因, (±): 平年並, (-): 少発要因

◆巡回調査では、やや多い発生であった。特に3月に防除を行っていない園で発生が多い傾向がみられた。

◆向こう1か月の降水量は、少ない30%、平年並40%、多い30%と予想されている(±)。

防除上の注意事項

◇ネーブル、レモン、はるみなどの品種は発病しやすいので注意する。

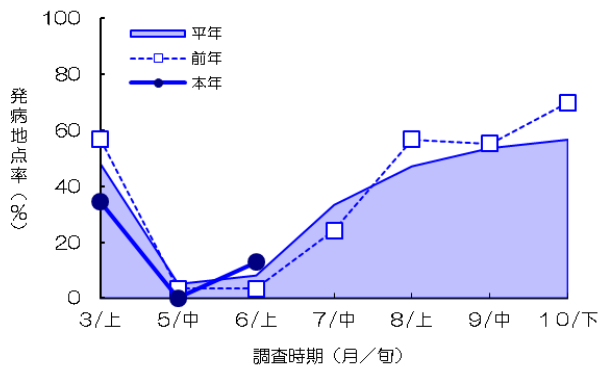
◇昨年度罹病した枝葉が伝染源となるので、除去するとともに、基幹防除を徹底する。

◇銅剤散布にあたっての注意事項

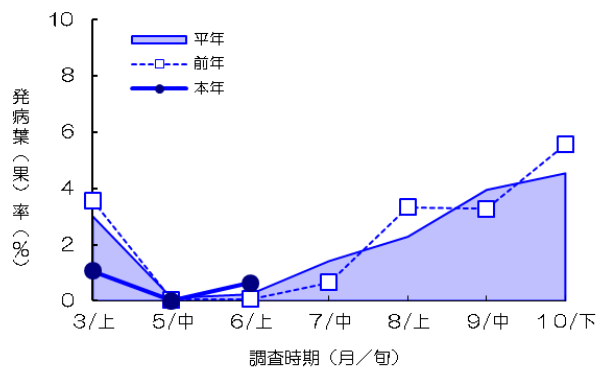
- 高度精製マシン油乳剤との散布間隔は14日以上あける。
- マンネブ剤、マンゼブ剤は混用せず散布し、これらの剤の散布間隔は7日以上あける。
- 無機銅剤(コサイド剤など)の散布を行う際には、クレフノン(希釈倍数: 200倍)を加用する。
- 高温時に散布を行うと薬害が発生しやすいので注意する。

巡回調査データ

かいよう病発病地点率



かいよう病発病葉(果)率



(注) 調査対象部位は、3/上; 旧葉, 5/中~7/中; 新葉, 8/上~; 果実

ミカンハダニ



現況(平年比)

少

予報(平年比)

少

予報の根拠

(+) : 多発要因, (±) : 平年並, (-) : 少発要因

◆巡回調査では、平年並の発生であった。一部で寄生葉率が高いほ場がみられた。

◆向こう1か月の気温は、低い30%、平年並40%、高い30%(±)、向こう1か月の降水量は、少ない30%、平年並40%、多い30%と予想されている(±)。

防除上の注意事項

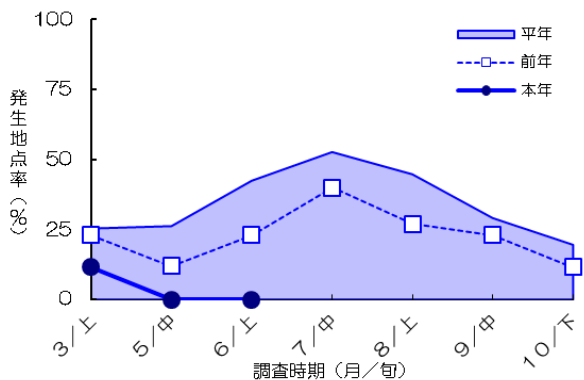
◇梅雨明け後の多発を予防するため、6月中下旬に高度精製マシン油乳剤を散布する。

◇マシン油乳剤散布にあたっての注意事項

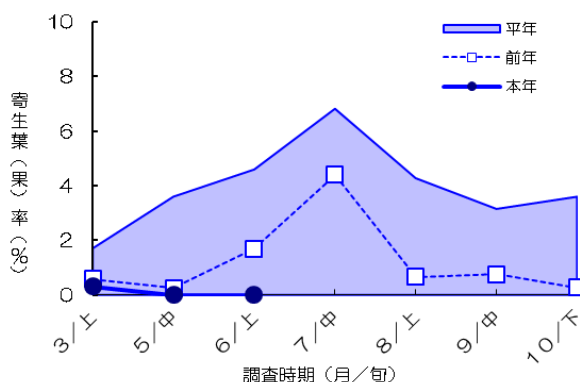
- ・7月以降の散布は果実の糖度低下につながるため、必ず6月末までに散布する。
- ・摘果剤との近接散布により、旧葉が落葉することがあるので注意する。
- ・高温時の散布は薬害を生じやすいため、気温の高い日は日中を避けて朝夕の涼しい時に所定濃度範囲の低濃度で行う。

巡回調査データ

ミカンハダニ発生地点率



ミカンハダニ寄生葉(果)率

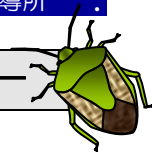


(注) 調査対象部位は、3/上~5/中;旧葉, 6/上~9/中;新葉, 10/下;果実

【発生量について】

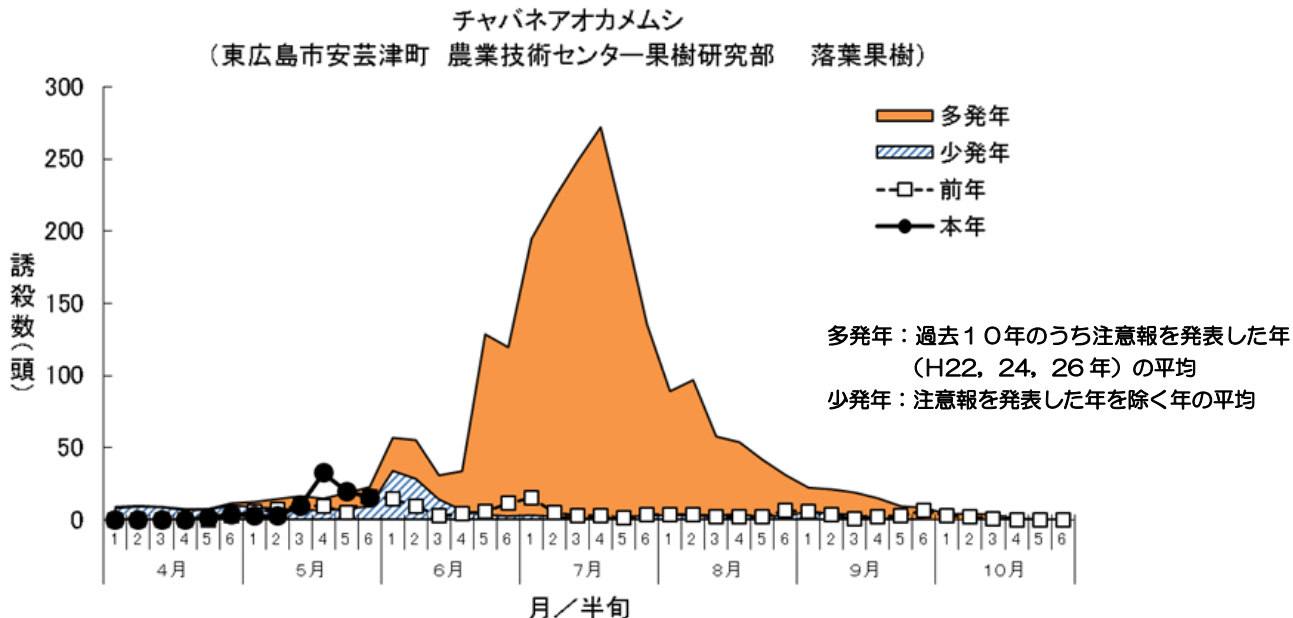
「予報」「現況」は、「多、やや多、並、やや少、少」の5階級に区分しています。区分の方法は、原則として、過去10年間の同時期の調査結果の数値を、発生が多かった順に並べ、相対比較しています。

- 「多」 : 1番目(最多年)と同程度以上
- 「やや多」 : 2~3番目と同程度
- 「並」 : 4~7番目と同程度
- 「やや少」 : 8~9番目と同程度
- 「少」 : 10番目(最少年)と同程度以下



2 果樹全般 ー果樹カメムシの発生に注意しましょうー

広島県内におけるチャバネアオカメムシ集合フェロモントラップへの誘殺状況は、地点により異なりますが、5月第6半旬まで「やや多～平年並」で推移しています。



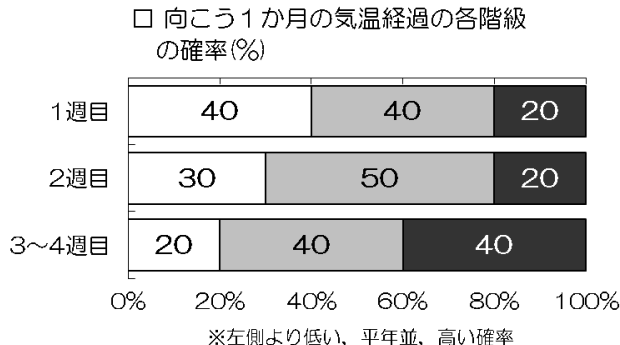
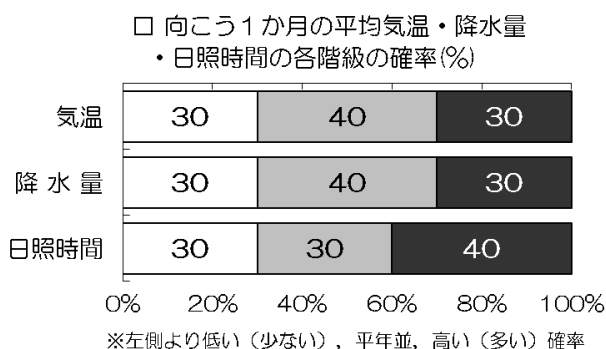
誘殺状況など、今後の情報に注意するとともに、ほ場内をよく見回り、飛来が認められた場合は速やかに防除を実施してください。

3 気象情報

中国地方1か月予報

(広島地方气象台6月7日発表、6月9日から7月8日までの天候見通し)

- ・ 平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
- ・ 週別の気温は、1週目は、平年並または低い確率ともに40%です。2週目は、平年並の確率50%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。



4 農薬危害防止講習会について

広島県では農薬による危害の未然防止を図るため、6月1日から8月31日までの3ヶ月間を農薬危害防止の重点期間と定め、農薬販売者及び農薬使用者に対する関係法令等の周知や農薬の適正販売、適正使用及び保管管理のさらなる周知・徹底を図ることとしています。この運動の一環として、下表のとおり農薬危害防止講習会を開催しますので、御参加ください。

表 平成30年度農薬危害防止講習会スケジュール

月 日	時 間	場 所
6月12日(火)	13:30~16:10	呉市きんろうプラザ 3F 大ホール (呉市中通 1-1-2)
6月19日(火)		広島県情報プラザ 第1・第2研修室 (広島市中区千田町 3-7-47)
6月26日(火)		備後地域地場産業振興センター 4F 大会議室 (福山市東深津町 3-2-13)
7月 3日(火)		十日市きんさいセンター 1Fホール (三次市十日市南 1-2-18)

(注)

- ・受付は、13時から13時30分までです。
- ・4会場とも駐車場を確保していないため、車での来場は控えてください。
- ・講習会の問合せは、県庁薬務課(082-513-3222)、農業技術課(082-513-3559)、または各保健所(支所)へお願いします。(各会場では対応していません。)
- ・東広島会場については、6月5日に実施しました。

5 お知らせ

◇病害虫発生予察情報やフェロモントラップ等の調査データは、広島県ホームページで閲覧できます。



アクセスはこちらから!



<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/198/syokubou-t.html>

今回の病害虫発生予察情報に関するお問合せ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム
〒739-0151 東広島市八本松町原6869
電話：082-420-9662(直通)

広島県 植物防疫

検索